

報告文献別一覧表(2004/8/1 ~ 2004/11/30)

資料No. 3 - 2

| 番号 | 感染症 | 出典 | 概要 |
|----|------------------------|--|---|
| 1 | A型肝炎 | Journal of Medical Virology, 72(1), 10-16, 2004 | A型肝炎ウイルスに感染すると、黄疸出現後490日までウイルスが検出可能であり、ALTとASTは相互及びウイルス量に相関していた。 |
| 2 | A型肝炎 | SCIEH Weekly Report, Vol.37, No.2004/03, Jan. 20 2004 | 2003年6月より、静注薬物乱用者のA型肝炎感染が13症例報告されている。 |
| 3 | A型肝炎 | SCIEH Weekly Report, Vol.38, No.2004/04, Jan. 27 2004 | グラスゴー刑務所における21歳囚人のA型肝炎感染症例について。 |
| 4 | A型肝炎 | 日本ウイルス学会第51回学術集会・総会 演題 P017 | 仙台で2002年7～4月に発症した7件のA型肝炎について、6件が1a型で1件は3a型であった。 |
| 5 | B型肝炎 | Journal of Clinical Virology, 2004, 29(2), 92-94 | 慢性B型肝炎患者の血清と唾液を用いてHBV DNA濃度を定量した結果、唾液中にHBV伝播能力があることが示唆された。 |
| 6 | B型肝炎 | 感染症学雑誌第78回日本感染症学会総会、78(s); 127, Mar. 2004 | キャリアの保育士から園児へ感染した事例。原因として保育士及び園児のアトピー性皮膚炎による出血、浸出液の接触等が考えられた。 |
| 7 | B型肝炎 | 第35回日本小児感染症学会、16(1); 99, Apr. 2004 | キャリアの保育士から園児へ感染した事例。原因として保育士及び園児のアトピー性皮膚炎による出血、浸出液の接触等が考えられた。(前回報告済み) |
| 8 | B型肝炎 | 日本公衆衛生雑誌第62回日本公衆衛生学会総会、50(10S), 837, Oct. 2003 | キャリアの保育士から園児へ感染した事例。原因として保育士及び園児のアトピー性皮膚炎による出血、浸出液の接触等が考えられた。 |
| 9 | B型肝炎、C型肝炎 | AABB Weekly Report, Mar. 5 2004 | 韓国で輸血によりHBVに4人HCVに5人が感染した。 |
| 10 | B型肝炎、C型肝炎 | The Korea Times, 2004/02/26 | 韓国で輸血によりHBVに4人HCVに5人が感染した。今までにHIVに4人が感染し、マラリアに4人が感染している。 |
| 11 | B型肝炎、C型肝炎 | Journal of Medical Virology, 2004, 74(2), 216-220 | イタリアの急性HBV感染の約15%、急性HCV感染の約11.5%は理容室のひげ剃りやピアス、フットケア等の美容業界における感染である。 |
| 12 | B型肝炎、C型肝炎、HIV感染、細菌感染 | 第52回日本輸血学会総会、P19-O, 2004.6 | 2003年において報告された輸血感染症は、HBV82例、HCV55例、HIV例、その他ウイルス6例、細菌61例であった。HBV感染例には、NATウインドウ期及びごく微量のウイルスのキャリアからの感染が考えられる症例が報告された。 |
| 13 | B型肝炎、C型肝炎、HIV感染、HTLV感染 | New England Journal of Medicine, 2004, 351(8), 751-759 | アメリカの組織バンクは、組織提供時のスクリーニングでは検出されなかったが、現在HBV,HCV,HIV,HTLV血症を起こしている確率を推定した。組織ドナーへのNAT導入がリスク低減に有効である。 |
| 14 | C型肝炎 | AABB Weekly Report, 2004: 10(16), 1-2 | オーストラリア赤十字は、ドナー血液のHCV検査は高率で偽陽性であることから、数ヶ月間陽性ドナーが献血を続けることを1990年2月に許可していた。 |
| 15 | C型肝炎 | ProMed, 20040331-0040 (Reuters Health online 03/29) | 韓国籍従事者が献血者情報の処理を誤り、肝炎ウイルスキャリアーからの供血液を輸血用として使用し、9人が感染した。 |
| 16 | E型肝炎 | Clinical Journal of Hepatology, 2004, 12(1), 13-15 | アカゲザルにHEV血症の血漿を注射したところ、急性肝炎を発症し、HEVの複製が確認された。HEVの血液感染により急性E型肝炎が発症することが確認された。 |
| 17 | E型肝炎 | Emerging Infectious Diseases, 10(5), 953-955, 2004 | 英国のHEV患者から分離されたHEV株のヌクレオチドの配列と、英国の養豚一説で認められたHEV株および日本の豚肉から検出されたHEV株のヌクレオチド配列と同一性が高かった。 |
| 18 | E型肝炎 | Journal of Medical Virology, 73(4), 554-561, 2004 | 日本人献血者5343名におけるHEV-IgG抗体の陽性率は3.7%であり、この中にはHEV-RNAおよびHEV-IgM抗体陽性者が3名含まれていたが、いずれもALTが検査基準を超えていた。HEV在来種JRA1に対して約90%の高い同一性を示した。 |

| 番号 | 感染症 | 出典 | 概要 |
|----|----------------------|---|---|
| 19 | E型肝炎 | Journal of Medical Virology, 73, 38-44, 2004 | 1996年インドネシア(バリ、ロンボク、スラバヤ)で健康人の血清中におけるHEVに対するIgG抗体保有率を調べた(各20%,4%,0.5%)。ブタを食べる習慣のあるバリ島におけるブタの72%がHEV抗体を保有し、日本などの他の地域と類似性の低い遺伝子型であった。 |
| 20 | E型肝炎 | Transfusion, 2004, 44(6), 934-940 | 北海道で、海外渡航歴のない患者が輸血によってHEVに感染した。 |
| 21 | E型肝炎 | 第52回日本輸血学会総会、P17-O、2004.6 | 北海道で献血された陰性の検体のうち、ALT値500IU/L以上の47検体に対する調査で、非B非C型肝炎ウイルスの輸血感染リスクの低減にALT検査が有効であることが、確認された。 |
| 22 | HIV | aaBB Weekly Report, 2004, 10(1), 1-2, 2004/1/2 | 日本で献血者のNATスクリーニング実施を始めて以来、第1例目の輸血後HIV感染が報告された。(前回報告済み) |
| 23 | HIV | CDC MMWR, 53(32); 731-734 | 米国南部の非都市部では、男性間で性関係を結ぶ若年層の黒人のHIV感染率が、同年代の白人男性全体の感染率を上回っている。 |
| 24 | HIV | UNAIDS, 2004 Report on the global AIDS epidemic, 2004/07/06 | HIV感染は2003年に480万人が感染した。特にアフリカでの新規感染が6割を占める。HIV感染の現状と対応案など。 |
| 25 | HIV | Institute of Human Virology, 410-706-4616, 2004/6/15 | ELISA法とPCR法を組み合わせた方法により高感度で短時間にHIVp24抗原を検出できる新たな検査法が開発された。 |
| 26 | HIV | New Scientist, 2004/08/09 | HIV様ウイルスの新種株が野生動物に感染循環しており、その肉を食べるヒトに感染伝播していることが示唆される。 |
| 27 | HIV | Transfusion, 2004, 44(6), 929-933 | 米国における、ミニプールNAT実施後2例目のウインドウ期間中の献血者からのHIV伝播の報告。18歳のドナーから2人に感染した。 |
| 28 | HIV | Vox Sang, 2004, 87(1), 44-45 | HIV-1グループ0に感染したドイツ人供血者の血液は、HIV-NAT(HIV-1サブグループM対応)では検出できなかった。 |
| 29 | HIV | Vox Sanguinis, 2004, 86, 171-177 | 抗体陽転前の血液サンプル中に存在するRNAが150/ml以下の場合、ミニプールNATでは適切に検地できない可能性がある。個別NATの場合RNAを確実に検地することが可能であることから、ミニプールNATの精度向上と個別NATの制度化が提案されている。 |
| 30 | HIV | オーストラリア連邦官報, GN 16, 2004/04/21 | 全血及び血液成分を採取・製造にあたって、HIV-1及びHCVがNAT陰性であること、Council of Europeのガイドライン第9版(2003.Jan)を遵守することが要求されている。 |
| 31 | HIV | India AP, 2004/06/11 | 過去3年で30人の小児が輸血によりHIVに感染したため、インド当局が血液バンクのモニタリングを始めた。 |
| 32 | HIV | SCIEH Weekly Report, Vol.38, No.2004/14, Apr. 6 2004 | 静注薬物乱用者及び生来のスコットランド人におけるHIV伝播は比較的まれである。 |
| 33 | HIV、C型肝炎 | The New England Journal of Medicine, 2004, 351(8), 760-768 | ミニプールNATの導入により、血清学的検査陰性血液から年間平均HIV-1が5件、HCVが56件検出され、感染を防ぐのに役立っている。 |
| 34 | アメリカトリパノソーマ症(シャーガス病) | 第73回日本寄生虫学会大会II-C-37 | ラテンアメリカからの日系就労者のうち、南米の風土病であるChagas病の疑い例について最近5年間当教室において調査したところ14例中11例がTrypanosoma cruziのIgG抗体が陽性であった。PCR法にてT.cruzi-DNAを検出した例もあった。(前回報告済み) |
| 35 | 咽頭結膜熱 | 国立感染症研究所、感染症週報、2004年第22週 | 咽頭結膜熱の一定点あたりの報告数は0.56であり、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。 |
| 36 | 咽頭結膜熱 | 国立感染症研究所、感染症週報、2004年第27週 | 咽頭結膜熱の一定点あたりの報告数は第27週に最高値0.95件/定点を記録した。 |
| 37 | インフルエンザ | Archives of Virology, 2004, 149, 1415-1422 | インフルエンザA(H1N2)ウイルスが韓国におけるブタの呼吸器疾患の大発生時に分離された。遺伝子はヒト、ブタ及びトリ由来であった。 |

| 番号 | 感染症 | 出典 | 概要 |
|----|---------|---|--|
| 38 | インフルエンザ | CDC, Travelers' Health, 2004/07/14 | 2004年6月末から7月にかけてアジアで家禽へのH5N1型鳥インフルエンザが再流行しているが、ヒトの感染は報告されていない。 |
| 39 | インフルエンザ | Herald Tribune, 2004/08/21 | 中国で発表されたブタでのH5N2型感染に対するコメント。 |
| 40 | インフルエンザ | Journal of Virology, 2004, 78(16), 8609-8614 | H9N2型ウイルスは、マウス・ニワトリ・ブタで複製可能であり、遺伝的・生物学的に多様化し、大流行へとつながることが示唆される。 |
| 41 | インフルエンザ | Nature, 2004, 430, 209-213 | 1997年香港で流行したH5N1型の元株は、遺伝子再集合によりニワトリとアヒルに優勢なH5N1型となったと考えられる。 |
| 42 | インフルエンザ | OIE | 日本(山口)において高病原性トリインフルエンザの発生が確認された。 |
| 43 | インフルエンザ | OIE Press releases, 2004/08/23 | 中国で発表されたブタでのH5N1型感染について概要。 |
| 44 | インフルエンザ | OIE Press releases, 2004/09/01 | OIEの要請に応じて、中国で発表されたブタでのH5N1型感染について研究者がデータを提供した。 |
| 45 | インフルエンザ | PNAS, 2004, 101(28), 10452-10457 | 1999年～2002年に分離したウイルスによる実験により、21検体のH5N1型株が中国南部の健全なアヒルから検出された。中国大陸においてアヒルの間でH5N1型が流行していることを示唆する。 |
| 46 | インフルエンザ | Population and Public Health Branch, FluWhatch, weeks 33- | 中国で発表されたブタでのH5N1型感染について概要。 |
| 47 | インフルエンザ | ProMED, 20040421-0070 (New York Times Online) | アメリカのニューヨーク州でヒトでのトリインフルエンザA(H7N2)ウイルス感染が確認された。患者は回復し、週間で退院した。感染ルートは不明である。 |
| 48 | インフルエンザ | ProMED, 20040709-0070 (WHO/CSR Disease Outbreaks news, 2004/07/08, Nature 2004, 430, 209-213) | H5N1型従来考えられていたよりも広範囲に拡大し風土病化しており、根絶がより困難であることが示唆されるため、長期にわたる対策が必要である。 |
| 49 | インフルエンザ | ProMED, 20040818-0010 (Reuters News) | 香港の研究グループが2001-2003年に行った研究で、鶏の約2%にトリインフルエンザH9N2型ウイルスを確認した。 |
| 50 | インフルエンザ | ProMED, 20040821-0070 (Bloomberg.com 2004/08/20, Yahoo News 2004/08/20) | 中国当局が始めてトリインフルエンザA型(H5N1)をブタで発見した。それに対するWHOとFAOからのコメント。 |
| 51 | インフルエンザ | ProMED, 20040822-0070 (Chinese Journal of Preventive Veterinary Medicine, 2004, 26(1)) | 2002～2003年の間にブタから採取された血清検体1936件から、H9N2、H5N1型鳥インフルエンザが確認された。 |
| 52 | インフルエンザ | ProMED, 20040822-0080 (VOV news, Yahoo news, My way) | ベトナム、マレーシア、タイ、中国における鳥インフルエンザの対応について。 |
| 53 | インフルエンザ | ProMED, 20040824-0020 (PNAS 101(28) 10452-10457, Channelnewsasia.com 2004/08/23) | 中国の研究者が発表した論文に対し、中国の農業省は、ブタで鳥インフルエンザウイルスが確認されたとする報道を否定した。 |
| 54 | インフルエンザ | ProMED, 20040825-0010, (The Kansas City Star, China Daily) | 農業省は110万個体の家禽及び豚について、病原体及び血清監査を実施した。トリインフルエンザウイルスに感染した豚は確認されなかった。 |

| 番号 | 感染症 | 出典 | 概要 |
|----|---------|---|--|
| 55 | インフルエンザ | ProMED, 20040825-0080 (Channelnewsasia 2004/08/24) | 中国当局は、鳥インフルエンザウイルスの致死性株がブタで確認されているが、流行とはなっていないと発現した。 |
| 56 | インフルエンザ | ProMED, 20040827-0020 (CIDRAP News, WHO) | H5N1型鳥インフルエンザのブタへの感染は、中国語論文にのみ公表されていた。ヒト及びトリインフルエンザウイルスの一部がブタに適応し、ブタ集団中で感染が蔓延し始める可能性がある。 |
| 57 | インフルエンザ | ProMED-mail 1/8, 2004 (The Australian 1/8, 2004) | ベトナムで小児12名が原因不明の呼吸器疾患に罹患、7名が入院中に死亡した。保健当局はその病因からSARSを除外、インフルエンザA型ウイルスであることを示唆した。 |
| 58 | インフルエンザ | SCIEH Weekly Report, 2004, 38(34), 2004/08/24 | ベトナムのH5N1の流行に関する調査の経過と、中国のH5N1型鳥インフルエンザについては詳細なデータが得られた時点でWHO,FAO,OIEが評価する。WHOは情報が少ないので評価が難しいため、H5N1を経験した国にさらなる研究を求めている。 |
| 59 | インフルエンザ | Texas Animal Health commission, news release, 2004/05/28 | アメリカのテキサス州の養鶏場で約2,4000羽の鶏が処分された。定期血液検査でトリインフルエンザH7N3が検出された。 |
| 60 | インフルエンザ | The Lancet, 2004, 363(9409), 587-593, 2004/02/21 | オランダの養鶏場でトリインフルエンザA型(H7N7)が流行し、調査の結果、ヒトへの感染も認められ、予想以上に家禽を扱う人に感染していた。ヒト-ヒト感染も見られた。 |
| 61 | インフルエンザ | The New England Journal of Medicine, 2004, 350(12), 1179-1188 | ベトナムのトリインフルエンザ患者10症例の臨床所見等について。家禽類から感染したと考えられ、ヒト間の感染についての知見は得られていないが、可能性がある。 |
| 62 | インフルエンザ | Virology, 2003, 310(1), 8-15 | H1～15のインフルエンザA型ウイルスがウズラで複製されるか実験した結果、H15以外の14種類のサブタイプのウイルスが複製された。ウズラがトリインフルエンザウイルス媒介の中間宿主として働く可能性を示した。 |
| 63 | インフルエンザ | Weekly epidemiological record, 2004, 79(32), 291-292 | 東南アジア地域で再び、高病原性トリインフルエンザA型(H5N1)がトリで流行した。H5N1は風土病になってきている。FAO、OIE、WHOが協力してネットワークを作ることになった。 |
| 64 | インフルエンザ | WHO HP, 2004/01/15 | トリインフルエンザのH5N2型とH7N1型は低病原性から高病原性へ変異したこと、変異はブタの体内で起こりやすいこと、H5N1株は急速に変異すること等。 |
| 65 | インフルエンザ | WHO Weekly Epidemiological Record, 79(7), 2004, 65-70 | 高病原性鳥インフルエンザの流行がアジアの8ヶ国において報告されている。ベトナムとタイの2カ国で報告されたH5N型の1ヒトへの感染を中心に、検証した。さらなる病原体の知見が必要である |
| 66 | インフルエンザ | WHO WPRO/Public Press Release 1/13, 2004 | WHOはベトナム・ハノイ地域で発生した3例の高病原性鳥インフルエンザ(H5N1)の診断検査の確定を得た。ベトナムでは合計14例の重症呼吸器疾患患者が検知、うち小児患者11例と成人患者1例の合計12例が死亡したが、今のところ、これらの全てが高病原性鳥インフルエンザである証拠はない。 |
| 67 | インフルエンザ | WHO/CSR, 2004/08/18 | 2004年8月にベトナムで起きた鳥インフルエンザによるヒトの死亡例3例のうち、2例がH5N1型であることが確定された。 |
| 68 | インフルエンザ | WHO/CSR, 2004/08/20 | 中国の獣医学研究所がトリインフルエンザA型(H5N1)によるブタへの初めての感染が確認されたと発表した。データが少なく、WHOは研究所に詳細な情報を求めた。 |
| 69 | インフルエンザ | WHO/CSR, 2004/08/25 | 中国の研究者が中国のいくつかの地域における農場のブタが、トリインフルエンザH5N1株に感染したと発表した。中国の農業省は、この研究者の発見を確認した。 |
| 70 | インフルエンザ | WHO/CSR, 2004/09/28 | タイでトリインフルエンザ(H5N1)のヒト-ヒト感染の疑い例が発生している。 |
| 71 | インフルエンザ | WHO/CSR/disease/2004 1/29 | タイ及びベトナムでのトリインフルエンザ患者確定症例。 |
| 72 | インフルエンザ | WHO/csr/don/2004_04_05 | カナダでトリインフルエンザA型(H7N3)によるヒトへの初めての感染が確認された。 |
| 73 | インフルエンザ | WHO/csr/don/2004_08_12 | ベトナムで2004年2月以来初めてのトリインフルエンザが発生し、死亡者が発生した。 |

| 番号 | 感染症 | 出典 | 概要 |
|----|---------------------|---|---|
| 74 | インフルエンザ | www.nature.com/news/ /2004, 040628-13 | 1999～2002年の間に分離したH5N1株21検体を用いた動物実験では、2001年と2002年のウイルスはそれ以前の年に分離されたウイルスよりも、病原性が高い。 |
| 75 | インフルエンザ | 海外感染症情報, 2004, 6(34) | 中国で発表されたブタでのH5N1型感染について概要。 |
| 76 | インフルエンザ | 農林水産省HPプレスリ リース, 2004/01/12, | 2004年1月に山口県で起きたトリのH5亜型A型インフルエンザウイルス感染事例について。 |
| 77 | ウイルス感染 | Archives of Virology, supplement18, 97-111 | オーストラリアとマレーシアでこの8年の間に起きた脳炎惹起性の人畜共通感染ウイルス3種(ヘンドラウイルス、オーストラリアコウモリリッサウイルス、ニパウイルス)について、今後も注視する必要がある。 |
| 78 | ウイルス感染 | Blood, 2004, 105(5), 1534-1541 | 合成ソラレン誘導体アモサレンを用いて光化学処理された血小板製剤の臨床試験の結果、処理群は未処理群に比べ出血傾向の是正には有意差が認められなかったが、血小板増加数低下、血小板輸血間隔短縮及び血小板輸血回数増加が認められた。 |
| 79 | ウイルス感染 | Department for Environment Food and Rural Affairs News, 2004/6/8 | 脚部に一部麻痺を呈している未産の雌牛が報告され、脳内にウイルス感染病変を認めているが、TSE病変は示していない。英国において調査中である。 |
| 80 | ウイルス感染 | Journal of Virology, 2001, 75(8), 3605-3612 | ALV-Eの感染性等について、内因性ALV-プロウイルス(ev loci)の調査を行った結果、5つのev lociが見出され、2つの非欠損性ev lociからは感染性ALV-Eを発現していた。ウズラ細胞へ感染することも確認された。 |
| 81 | ウイルス感染 | Journal of Virology, 2003, 77(2), 1105-1111 | 黄熱病ワクチン3製品について調査を行ったところ、RT-PCR法によりALV-EとEAVのRNAが検出された。 |
| 82 | ウイルス感染 | Virus Research, 2004, 100(2), 223-228 | 日本の小児における調査で、SENV-D,SENV-Hとも急性あるいは慢性肝炎には関与しなかったが、SENV-Dは劇症肝炎の危険因子になり得ることが示唆された。 |
| 83 | ウイルス感染 | 動物医薬品検査所年 報, 40, 2003, 21-23 | 日本国内に流通している組織培養用牛由来血清について、牛ポリオーマウイルスによる汚染率を遺伝子の検出を指標に調査した結果、50%以上の高率で汚染されていることが示された。 |
| 84 | ウイルス感染 | 感染症誌, 2004, vol78(2), 129-137 | 広島県の小児の急性呼吸器感染症の患者377名のうち77名がhuman metapneumovirus (hMPV)陽性で、2つの遺伝子型に区別された。 |
| 85 | ウイルス感染 | 日本小児科学会雑誌, 108(3)390-394,2004 | 2002年1～2月に急性呼吸器感染症と診断された患者835件の検体から、PCR法でhMPV (human metapneumovirus) の遺伝子を検出した。 |
| 86 | ウイルス感染 (アルボウイルス) | ProMED-mail, 20040709,1842 (Viet Nam News Agency, 2004/7/7) | ベトナムで小児に急性脳症を起こしている新種のアルボウイルスが分離された(Nam Dinh virus)。蚊によって媒介される。 |
| 87 | ウイルス感染 (アルボウイルス) | Vietnamnews HP, 2004/07/08 | ベトナムで小児に急性脳症を起こすアルボウイルスの一種を新たに発見した。 |
| 88 | ウエストナイル ウイルス | aaBB Association Bulletin, 2004/4/15 | 2003年にWNV-NAT検査が供血者860万人に対して実施され1000人の陽性血が確定し、輸血による6例のWNV感染が確認された。 |
| 89 | ウエストナイル ウイルス | aaBB the Executive Perspective, 2004.3 | 2003年7月からWNV-NAT検査を400万人の供血者に対して実施し、1000人のWNV陽性供血者を検出した。 |
| 90 | ウエストナイル ウイルス | AABB Weekly Report, 2004, 10(26), 12 | 英国は、WNVリスク地域(米国、カナダ)へリスク期間(6月1日～11月30日)に渡航歴がある人に対して、28日間の供血延期措置を行っていたが、献血血液のWNV検査を導入し、これを撤廃した。 |
| 91 | ウエストナイル ウイルス | AABB Weekly Report, Apr. 7 2004 | 米国の輸血関連WNV感染事例は6例で、WNV検査で検出されなかった供血者の献血血液によるものだった。 |
| 92 | ウエストナイル ウイルス | ABC Newsletter, 2004/1/30 | アイルランド輸血サービスは、WNV感染に対する予防策として、米国、カナダ、メキシコからの帰国者について4週間の採血延期措置を決定した。 (前回報告済み) |

| 番号 | 感染症 | 出典 | 概要 |
|-----|-------------|--|--|
| 93 | ウエストナイルウイルス | CDC MMWR, 53(13); 281-284, 2004/04/09 | 輸血後WNV感染が認められたことについて。WNV感染者の80%は無症候であり、低濃度の場合はNATスクリーニングをすり抜ける可能性がある。 (前回報告済み) |
| 94 | ウエストナイルウイルス | CDC MMWR, 53(32); 738-739, 2004.08.20 | ジョージア州でWNVに感染した患者2名は同じ透析機を用いており、同じ透析機を使用した患者はもう一人いることが分かったが、この患者は検査結果は疑わしかったがWNVと確定できなかった。 |
| 95 | ウエストナイルウイルス | CDC MMWR, 53(33); 770-771, 2004.08.27 | 2004年は、8月24日までに32州から843例のWNV感染者がCDCに報告された。 |
| 96 | ウエストナイルウイルス | CDC MMWR, 53(35); 823-824, 2004.09.10 | 2004年米国WNVの現状について。今までに、米国37州、計1,191名のWNV症例のうち、死者は30名である。 |
| 97 | ウエストナイルウイルス | CDC MMWR, 53(36); 842-844 | 2004年にアメリカのアリゾナ州で確認された輸血関連WNV感染の症例報告について。 |
| 98 | ウエストナイルウイルス | CDC MMWR, 9/26, 2003/52(38): 916-9 | 2003年から米国内の採血機関ではウエストナイルウイルスを検出するため、プールNAT検査を導入したが、2003年9月時点で2例のNATすり抜け輸血感染症例が報告された。 |
| 99 | ウエストナイルウイルス | CDC WNV (2004 WNV Viremic Blood Donor Activity in the United States) | 供血時には無症候であったが、その後のスクリーニングテストで陽性を示したウエストナイルウイルスの疑いのある血液ドナー141例が、CDC ArboNETに報告されている。 |
| 100 | ウエストナイルウイルス | ProMED, 20040520-0060 (Prork Magazine 05/18) | 若いブタほどWNV感染性が高く、加齢につれて感受性が低くなる。 |
| 101 | ウエストナイルウイルス | ProMed, 20040409-0050 (The Sacramento Bee 04/03, MMWR 04/09) | 献血血液でのWNVサーベイランスと輸血に関係した感染伝播について。 |
| 102 | ウエストナイルウイルス | Transfusion, 2004, 44(6), 886-890 | FFPにおけるメチレンブルーを用いた光処理では、WNVを5.75log不活化することが確認された。 |
| 103 | ウエストナイルウイルス | UK National Blood Service, 2004.4 | 英国は、WNVリスク地域(米国、カナダ)へリスク期間(6月1日～11月30日)に渡航歴がある人に対して、28日間の供血延期措置を採用した。アメリカから輸入されるFFPはメチレンブルーで処理されている。 |
| 104 | ウエストナイルウイルス | FDA/Blood Products Advisory Committee, 2004/07/23 | 血液製剤諮問委員会(BPAC)においてCBERからWNVに関するプレゼンテーションがあった。供血停止期間を56日に延長することが検討されている。 |
| 105 | ウエストナイルウイルス | Vox Sanguinis, 2004, 87, 10-18 | カプリル酸処理及び低pHインキュベーションの過程で、WNV、ワクシニアウイルス、WNVモデルウイルス、牛ウイルス性下痢ウイルスを不活化できる。 |
| 106 | 牛痘 | CDC/MMWR, 53(05); 103-105, Apr. 9 2004 | 2002年1月～2004年までに予防接種を受けた軍人のうち30例において家庭内での接触感染が疑われる二次、三次感染があった。ワクシニアウイルスは接種部位の皮膚に存在するため、自家接種、接触感染伝播しうる。 (前回報告済み) |
| 107 | 牛痘 | ProMed, 20040213-0010 (CDC/MMWR, 53(5), 103-105, 2004) | 2002年1月～2004年までに予防接種を受けた軍人のうち30例において家庭内での接触感染が疑われる二次、三次感染があった。ワクシニアウイルスは接種部位の皮膚に存在するため、自家接種、接触感染伝播しうる。授乳中の皮膚と皮膚、もしくは皮膚と粘膜の直接的接触を通しての母親から新生児へのワクシニアウイルス伝播の初めての症例。 |
| 108 | 牛痘 | ProMed, 20040213-0030 (Reuters Health, 02/10, JAMA2004, 291; 725-727, 11Feb. 2004) | 母乳栄養児が天然痘ワクチンウイルスに暴露された。米国軍人の父親から母親へ、母親から乳児へ三次感染した。 |
| 109 | 牛痘 | NIID/IDSC/IASR, 25(3); 82, Mar. 2004 (CDC/MMWR, 53(5), 103-105, 2004) | 2002年1月～2004年までに予防接種を受けた軍人のうち30例において家庭内での接触感染が疑われる二次、三次感染があった。ワクシニアウイルスは接種部位の皮膚に存在するため、自家接種、接触感染伝播しうる。授乳中の皮膚と皮膚、もしくは皮膚と粘膜の直接的接触を通しての母親から新生児へのワクシニアウイルス伝播の初めての症例。 |

| 番号 | 感染症 | 出典 | 概要 |
|-----|---------------|---|---|
| 110 | 牛痘 | PPHB Infectious Diseases news Brief, Feb. 13 2004 (JAMA2004, 291; 725-727, 11Feb. 2004) | 母乳栄養児が天然痘ワクチンウイルスに暴露された。米国軍人の父親から母親へ、母親から乳児へ三次感染した。授乳中の皮膚と皮膚、もしくは皮膚と粘膜の直接的接触を通しての母親から新生児へのワクシニアウイルス伝播の初めての症例。 |
| 111 | 狂犬病 | CDC MMWR, 53(Dispatch);1-3, 2004/07/01 | アメリカで、同一ドナーから臓器移植を受けた3名(肝1、腎2)が死亡し、狂犬病ウイルス抗原の検出により狂犬病と診断された。ドナーとレシピエント2名の血液から抗体が検出され、臓器移植が感染に関与していると思われる。 |
| 112 | 狂犬病 | CDC Press Release, 2004/7/1 | 共通のドナーから臓器を提供された3名の患者が狂犬病に感染した。臓器移植による狂犬病感染の最初の症例である。 |
| 113 | 狂犬病 | ProMED, 20040414-0060 (Regions.Ru, 2004/04/10) | ロシアStavropol地域で動物の狂犬病症例46例があった。2003年と比べて倍増している。 |
| 114 | クラミジア、淋疾、梅毒 | PPHB Infectious Diseases news Brief, Jun. 18 2004 | カナダ国内の感染性梅毒率は1977年のほぼ3倍で、そう報告数の80%は男性である。 |
| 115 | クラミジア | Transfusion, 2004, 44(7), 1072-1078 | 調査施設で募った健康人70名における末梢血単核球について、拡散検査および免疫染色で検査したところ13名で肺クラミジア抗原陽性反応を確認した。 |
| 116 | クロイツフェルト・ヤコブ病 | aaBB Weekly Report 2004. 10(14), 9, 2004/4/9 | Mimetic Regand技術に基づいたフィルターでvCJD感染血液を処理したところ、in vitroでは検出限界まで感染性プリオンタンパクは除去され、in vitroでは感染レベルの有意な低下が見られた。 |
| 117 | クロイツフェルト・ヤコブ病 | AABB Weekly Report, 10(23), 04/06/18 | 日本及び米国の科学者らが狂牛病の原因となるプリオンタンパクを胎仔から除去する遺伝子組み換え操作を行った。ウシは医薬品の開発に使用される予定である。 |
| 118 | クロイツフェルト・ヤコブ病 | AABB Weekly Report, 10(24), 04/06/25 | 英国でvCJDに感染したフロリダの女性が死亡した。米国での初めての死亡例。 |
| 119 | クロイツフェルト・ヤコブ病 | AABB Weekly Report, 10(25), 04/07/02 | 米国赤十字は現在の供血禁止規制を緩和し、1980年1月1日から1996年12月31日までの間に合計3ヶ月以上にわたって英国に滞在したヒトからの供血を禁止することを提案。 |
| 120 | クロイツフェルト・ヤコブ病 | AABB Weekly Report, 10(25), 04/07/02 | 米国農務省が結論の出していないBSE検査を追跡調査し、1例は偽陽性でもう1例は確定検査待ちである。 |
| 121 | クロイツフェルト・ヤコブ病 | AABB Weekly Report, 10(26), 04/07/16 | 米国農務省によると、中枢神経系症状のために処分されたウシ680頭のうち518等がBSE検査を受けていなかった。 |
| 122 | クロイツフェルト・ヤコブ病 | AABB Weekly Report, 2004: 10(21), 3 | ヒト血液中の異常プリオンタンパクを検出できる検査法を開発したと、研究者が発表した。 |
| 123 | クロイツフェルト・ヤコブ病 | AABB Weekly Report, Feb. 13 2004 | 2月7日にLancetに発表された2つの研究によると、vCJDは血液伝播の可能性がある。 |
| 124 | クロイツフェルト・ヤコブ病 | ABC Newsletter, 2004/6/25 | 米国赤十字は現在の供血禁止規制を緩和し、1980年1月1日から1996年12月31日までの間に合計3ヶ月以上にわたって英国に滞在したヒトからの供血を禁止することを提案。2005年中に承認される予定。 |
| 125 | クロイツフェルト・ヤコブ病 | ABC Newsletter, 2004/7/2 | BASEだけが新しいタイプのBSE株というわけではない。BASEはsCJDと似た点がある。(Lancet, 363, 2013-2014についてのコメント)。 |
| 126 | クロイツフェルト・ヤコブ病 | Afssaps/communique de press 2004/2/1 | 輸血によるvCJD感染の可能性を示す症例が確認されたことを受けて、フランス保健製品衛生安全庁が血液及びその二次製品を介したTSE因子の感染リスクに対して現時点では修正の必要はないとの暫定的声明を出した。 |
| 127 | クロイツフェルト・ヤコブ病 | BBC News UK edition, 2004/07/15 | 英国で虫垂及び扁桃を検査したところ12,674件体中3検体がvCJDの兆候を示した。数千名がvCJDキャリアである可能性を指摘した。Journal of Phthologyの論文を引用した報道。 |
| 128 | クロイツフェルト・ヤコブ病 | Biologicals, 2004,32(1),1-10 | アルブミンや免疫グロブリン製剤の製造工程でのTSE因子除去のため、ナノ濾過の効果について検討した結果、有効であると確認された。 |

| 番号 | 感染症 | 出典 | 概要 |
|-----|---------------|---|---|
| 129 | クロイツフェルト・ヤコブ病 | BioMetals, 2004, 17, 353-356 | 牛乳及び乳製品のBSE感染リスクを評価したところ、無視できる程度である。 |
| 130 | クロイツフェルト・ヤコブ病 | British Medical Journal, 2004, 329, 251 | vCJDの発症前に供血していたドナーから輸血を受けた患者は、死亡後の解剖所見で脾臓にプリオン病変が確認された。 |
| 131 | クロイツフェルト・ヤコブ病 | British Medical Journal, 2004; 328(7432): 118-119 | 2003年12月に世界で初めて輸血によるvCJDの感染の可能性のある症例が英国で報告されたことから、今後の感染リスクを最小限にとどめるための対策の提言。 |
| 132 | クロイツフェルト・ヤコブ病 | Cambridge Healthtech Institute 2004 | 羽毛分解酵素ケラチナーゼPWD-1がプリオン分解能を有する。 |
| 133 | クロイツフェルト・ヤコブ病 | CDC HP 2004/1/9 | 米国で1例目のBSE感染牛が発見された。当該ウシはカナダから輸入されたウシであるとの調査報告 |
| 134 | クロイツフェルト・ヤコブ病 | CDC Infectious Diseases Testimony, 2004.2.24 | CWDと米国のvCJD患者との因果関係は認められなかったが、ヒトプリオンタンパク質がCWD関連プリオンによって病原性プリオンタンパク質に変換されたという研究報告もある。米国におけるCWDは現在は地域が限定されているが、汚染地域が広がるのが懸念されている。 |
| 135 | クロイツフェルト・ヤコブ病 | CDC Infectious Diseases, 2004,02,24 | CDCのこれまでの調査では、CWDとヒトとの因果関係を示唆する明確な証拠は確認されていないが、ヒトにCWD原因プリオンの感染伝播が起こりうる可能性がある。 |
| 136 | クロイツフェルト・ヤコブ病 | CDC MMWR, 53(53); 1280-1285, 2004 | 米国農務省は、ワシントン州の食肉処理場で処理されたホルスタイン種ウシ1頭が、米国で初めてのBSEであると推定診断されたと発表した。 |
| 137 | クロイツフェルト・ヤコブ病 | CDR Weekly, 14(12), 04/03/18 | 英国保健省は1980年以降に輸血を受けた人は献血できなくなる措置を2004年5月から施行する。 |
| 138 | クロイツフェルト・ヤコブ病 | CDR Weekly, 14(39), 2004/09/23 | 今までに英国血漿ドナー9例がvCJDを発症し、計23回供血され、血液製剤原料として使用されたが、感染伝播の報告はない。 |
| 139 | クロイツフェルト・ヤコブ病 | Department of Health, press release notices, 2004/0104, | 英国保健大臣はvCJDのリスクの可能性に対するさらなる予防措置として、輸血歴のあるヒトを供血資格者から除外すると発表した。 |
| 140 | クロイツフェルト・ヤコブ病 | EMBO reports, 2003, 4(5), 530-533 | スクレイピーを経口接種したマウスの筋肉(前足、後足、頭、背中、肩の骨格筋、舌)にPrPscに一樣に蓄積が確認された。 |
| 141 | クロイツフェルト・ヤコブ病 | EMEA/CPMP/BWP/2879/02/rev1, June 23 2004 | 2004年1月の会議結果を反映させた、CPMP Position statement on Creutzfeldt-Jakob Disease and Plasma-Derived and Urine-Derived Medicinal Products(2003年2月通知)の修正版。 |
| 142 | クロイツフェルト・ヤコブ病 | Emerging Infectious Diseases, 2004, 10(6), 977-984 | アメリカにおいてCWDがこれまで報告されていなかった地域において、新たにCWDの発生が確認された。いくつかの疫学調査の結果があるものの、CWDとCJDの関係を示す証拠に欠けているが、注意が必要。 |
| 143 | クロイツフェルト・ヤコブ病 | Emerging Infectious Diseases, 2004, 10(6), 1003-1006 | CWDに感染したシカがいた牧場9箇所のうち、5箇所で約2年後に感染が起きた。間接的伝播と感染源のプリオンの環境への残留はCWDや他のプリオン起因病の制御を難しくさせるだろう。 |
| 144 | クロイツフェルト・ヤコブ病 | Eurosurveillance Weekly, 2004, 8(20), 2004/05/13 | 2004年の第一四半期において、英国で報告されたvCJDによる死亡は1例のみだった。 |
| 145 | クロイツフェルト・ヤコブ病 | Eurosurveillance, Surveillance Report, 2004/05/13 | vCJD発生率の解析で、1994年以来の死亡患者発生率はすでに極期に達し、現在は減少しているということが示されている。 |
| 146 | クロイツフェルト・ヤコブ病 | FDA Immediate Release Statement, 04/05/04 | 中枢神経症状を呈した牛がBSE検査を受けないまま試料となっていることについてFDAの見解。ブタの飼料であれば問題なく、今後家畜飼料法を改善する方向である。 |
| 147 | クロイツフェルト・ヤコブ病 | FDA News release | 米国農務省USDAと保険社会福祉省HHSはBSEに関する安全強化対策を発表した。 |

| 番号 | 感染症 | 出典 | 概要 |
|-----|---------------|--|---|
| 148 | クロイツフェルト・ヤコブ病 | FDA TSE諮問委員会, 2004/02/12-13, topic3 | FDAは医薬品におけるBSEリスクの低減に向けた取り組みとして、品質保証済みの牛に由来する原料を用いる等の追加対策を討論した。 |
| 149 | クロイツフェルト・ヤコブ病 | FDA TSE諮問委員会, 2004/02/12-13, topic4 | 血液製剤中のTSEの感染リスク低減に向けて、FDAはBSE発生地域への滞在歴に基づくハイリスクドナーからの供血延期措置等の対策を講じている。 |
| 150 | クロイツフェルト・ヤコブ病 | FDA/CFSSAN FACT sheet, News Release, 2004/07/09 | FDAは従来BSE発生国以外の原産国由来の反芻動物肉骨粉のブタ飼料への使用を認めていたが(FDA statement, 2004/05/04)、7月に新たに反芻動物由来特定危険部位を全ての動物飼料として使用することを禁止する規制が提案された。 |
| 151 | クロイツフェルト・ヤコブ病 | First International Conference of The Network of Excellence NeuroPrion, 2004, May 24-27, A-21 | 羊スクレイピーの経胎盤による子羊への母子感染が確認された。子羊は短期間の潜伏期間(7ヶ月)で発症した。 |
| 152 | クロイツフェルト・ヤコブ病 | First International Conference of The Network of Excellence NeuroPrion, 2004, May 24-27, Dia-17 | 英国人のsCJD,vCJD筋肉検体をスクリーニングしたところ、サブタイプMV1型sCJD患者1例でPrPScの存在が確認された。神経外組織におけるPrPScの蓄積は罹患期間と関連する可能性がある。 |
| 153 | クロイツフェルト・ヤコブ病 | First International Conference of The Network of Excellence NeuroPrion, 2004, May 24-27, Oral-21 | PrPSc特異的リガンドであるSeptrionによるマイクロプレートを用いたイムノアッセイ法は、感度・特異性とも優れており、米国農務省からCWD、BSEに対する使用が承認されている。 |
| 154 | クロイツフェルト・ヤコブ病 | HHS, FDA/ 79th meeting of Blood Products Advisory Committee, | 英国の事例について米国の専門家も輸血によりvCJDが伝播した可能性が高いと考えているが、現在の米国の供給呈し政策を変更する必要はないとしている。 |
| 155 | クロイツフェルト・ヤコブ病 | Journal of Pathology, 2004; 203: 733-739 | リンパ網内系の検体12,674(扁桃及び虫垂)のうち、虫垂3検体からプリオンタンパク質のリンパ網内系への蓄積を示した。 |
| 156 | クロイツフェルト・ヤコブ病 | Journal of General Virology, 2003, 84, 1021-1031 | BSEのブタに対する感染性について調査するため、異常プリオンの頭蓋内・静脈内・腹腔内の同時、及び経口摂取の実験を行った結果、ブタにもBSE感受性があることが確認されたが、経口投与では感染されない |
| 157 | クロイツフェルト・ヤコブ病 | Journal of General Virology, 2003, 85, 2727-2733 | アミノ酸部位136,154,173でアラニン、アルギニン、アルギニンをエンコードする対立遺伝子のホモ接合を持つヒツジはスクレイピー抵抗性と考えられていたが、2頭のヒツジよりプリオン蓄積が確認された。 |
| 158 | クロイツフェルト・ヤコブ病 | Lancet Neurology, 2003(2) 757-763 | スイスの2001,2002年のCJD症例率は、過去の約2倍の2.6人/100万人であった。増加の理由については種々の可能性があるが不明である。患者数の疫学的データが必要である。 |
| 159 | クロイツフェルト・ヤコブ病 | Microsens news press release, 204/05/26 | Microsens Biotechnologies社により、動物及びヒトの血液中の異常プリオンを高い特異性及び選択性で検出できるCJD検査が開発された。 |
| 160 | クロイツフェルト・ヤコブ病 | National Science Foundation, 2004/05/12 | CDWの病因に感染した動物の屍骸や排泄物で汚染された環境を介して、CWDが伝播される可能性がある。(Emerging Infectious Diseaseの5月の掲載記事について) |
| 161 | クロイツフェルト・ヤコブ病 | Nature Medicine, 2004, 10(6), 591-593 | フランスの研究グループによると、スクレイピーに罹患したヒツジの筋細胞中に異常プリオンタンパクが少量であるが蓄積する。異常プリオンの筋肉への蓄積は、食用肉の家畜では初めてである。 |
| 162 | クロイツフェルト・ヤコブ病 | Nature Medicine, 2004, 10, 501-503 | 自然状態で感染したヒツジは、臨床的疾患を発症する数ヶ月前から筋肉にPrPscが検出された。感染性は脳と比べて5000分の1である。 |
| 163 | クロイツフェルト・ヤコブ病 | NIID/IDSC/IASR, 25(2); 46, Feb. 2004 (CDR Weekly, 13(51), 2003) | 英国で輸血によるvCJD感染の可能性を示す症例が1例確認された。 |
| 164 | クロイツフェルト・ヤコブ病 | PANAS 101, 3065-3070, 2004 | イタリアで脳にアミロイド斑を伴い、脳内PrPsc蓄積の場所が異なるという病理所見を示すBSEを発見した。分子構造はsCJDのサブタイプに見られるPrPscと似ている。 |

| 番号 | 感染症 | 出典 | 概要 |
|-----|---------------|---|--|
| 165 | クロイツフェルト・ヤコブ病 | Preventive Veterinary Medicine 63, 135-149, 2004 | BSE感染牛から作られた牛脂を用いた牛乳代用品を、生後7週間子牛に与えた。汚染された牛乳代用品の許容純度と脊髄のBSE感染物質が関係している可能性がある。 |
| 166 | クロイツフェルト・ヤコブ病 | Proceedings of National Academy of Sciences of the USA, 2004, 101(9); 3065-3070 | イタリアでBSEと診断されたウシのうち、2頭において従来のPrPscとは異なる特徴を示した。プロテアーゼ耐性プリオン蛋白質が認められ、生化学的にも病理学的にも sporadicCJDの所見と類似していた。 |
| 167 | クロイツフェルト・ヤコブ病 | Pro Med, 20040522-0060 (BBC News 05/21, Reuters News) | 英国で虫垂及び扁桃を検査したところ12,674件体中3検体がvCJDの兆候を示した。数千名がvCJDキャリアである可能性を指摘した。Journal of Phthologyの論文を引用した報道。 |
| 168 | クロイツフェルト・ヤコブ病 | ProMED, 02/19, 2004 (www.pnas.org/cgi/doi/10.1073/pnas.03057771) | イタリアで脳にアミロイド斑を伴い、脳内PrPsc蓄積の場所が異なるという病理所見を示すBSEを発見した。分子構造はsCJDのサブタイプに見られるPrPscと似ている。 |
| 169 | クロイツフェルト・ヤコブ病 | ProMED, 04/07/14 | 米国保健福祉省および農務省は、BSEに関する追加の予防的措置についてのパブリックコメント、ヒト用食品及び化粧品における原料としての使用規制案とその記録保持規則案、を発表した。 |
| 170 | クロイツフェルト・ヤコブ病 | ProMED, 20040203-0060 (英国保健省、United Press) | 2002年2月2日における英国のCJD患者数は、vCJD確定死亡例103例。米国でアルツハイマーあるいは痴呆症と死亡診断を受けた患者の3～13%がCJDの可能性があると報告された。 |
| 171 | クロイツフェルト・ヤコブ病 | ProMED, 20040319-0010, 04/03/19 (The Guardian) | 米国農務省は、初のBSE症例が発見されたことに内応して、BSE検査を行う個体数を現在の10倍に増やすことを計画している。 |
| 172 | クロイツフェルト・ヤコブ病 | ProMED, 20040319-0090 (Eurosurveillance Weekly, 8(10), | 英国は、1980年1月1日以降に英国で輸血を受けた人は献血を禁止する措置を2004年4月5日に施行した。 |
| 173 | クロイツフェルト・ヤコブ病 | ProMED, 20040409-0060, 04/04/09 (The Billings Gazette, CDC) | CDCのこれまでの調査では、CWDとヒトとの因果関係を示唆する明確な証拠は確認されていないが、ヒトにCWD原因プリオンの感染伝播が起こりうる可能性がある。 |
| 174 | クロイツフェルト・ヤコブ病 | ProMED, 20040410-0010, 2004/4/9 (NewScientist.com, 2004/4/8) | 英国環境食糧農村地域省から非典型的のスクレイビーが報告された。牛に比べてプリオンが筋中(可食部)に多く、免疫学的試験の結果はBSEとの類似を示した。 |
| 175 | クロイツフェルト・ヤコブ病 | ProMED, 20040415-0030 (Reuter News, 2004/04/09) | 米国農務省は牛肉生産者が自主的に行う飼育牛の全頭検査を認めない方針。 |
| 176 | クロイツフェルト・ヤコブ病 | ProMED, 20040512-0080 (SACBEE News, 04/05/08) | 2004年6月からBSE検査の対象を拡大することに関連して農務省他、有識者のコメント。 |
| 177 | クロイツフェルト・ヤコブ病 | ProMED, 20040519-0050 (Emerging Infectious Diseases, | CWDに感染したシカがいた牧場9箇所のうち、5箇所で約2年後に感染が起きた。間接的伝播と感染源のプリオンの環境への残留はCWDや他のプリオン起因病の制御を難しくさせるだろう。 |
| 178 | クロイツフェルト・ヤコブ病 | ProMED, 20040526-0040, 2004/5/24 (NY times, Alaska Fisherman's Journal) | スクレイビー感染ヒツジの筋肉で、異常プリオンが羊組織中の5000分の1程度の濃度で検出された。(Nature Medicine,10(6), 591-593, 2004 June について) |
| 179 | クロイツフェルト・ヤコブ病 | ProMED, 20040527-1431 (Journal of General virology, 84, 1021-1031, 2003) | BSE病原体をブタに投与(頭蓋内、静脈内、腹腔内)したところ、69-150週で感染が確認された。一方、BSE感染の脳を餌として与えられ7年間暴露されても、ブタは感染しなかった。 |
| 180 | クロイツフェルト・ヤコブ病 | ProMED, 20040615-0060, 2004/6/14 (OIE) | OIEが加盟国をBSE発生状況により5つのカテゴリーに分類した結果、BSEの発生していない国・地域に分類された国は無かった。(規約2.3.13.3～7の紹介) |
| 181 | クロイツフェルト・ヤコブ病 | ProMED, 20040620-0050, 04/06/17 | 各国のBSE発生状況、EUのBSE検査状況 |
| 182 | クロイツフェルト・ヤコブ病 | ProMED, 20040806-0020, 04/08/06 (Reuters) | 米国農務省は迅速スクリーニング検査で得られた偽陽性結果のすべてに対して2重再検する。 |

| 番号 | 感染症 | 出典 | 概要 |
|-----|---------------|---|---|
| 183 | クロイツフェルト・ヤコブ病 | ProMED, 20040807-0030 (Eurosurveillance Weekly, 8(31), BBC News Online, 6 Aug.) | vCJDを発症したドナーからの輸血を介しての2例目のvCJD伝播が確認された。輸血を受けた患者の検死により脾臓にvCJD病原体が確認された。 |
| 184 | クロイツフェルト・ヤコブ病 | ProMetic Life Sciences Inc., press release, 2004/08/03 | 血液及び血液由来製剤から選択的に病原体を吸着し除去するフィルター製品の上市を計画している。 |
| 185 | クロイツフェルト・ヤコブ病 | Science, 305, 673-676, 04/07/30 | 人工的なプリオンの合成に成功し、そのプリオンをマウスの脳に投与したところとBSEと同様の症状を示した。タンパクだけでも感染症の原因となりうることが示唆される。 |
| 186 | クロイツフェルト・ヤコブ病 | Story from BBC News, 2004/5/21 | 英国人の12,674人を対象とした虫垂及び扁頭標本の病理検査を実施したところ、3人にプリオンの蓄積を認めた。この結果、英国全体では、3,800人がvCJDの潜伏期にある可能性が示唆された。(Journal of Pathology, 2004; 203: 733-739 について) |
| 187 | クロイツフェルト・ヤコブ病 | The Journal of Clinical Investigation, 113(10), 2004, 1465-1472 | スクレイピー感染ヒツジ由来試料をハムスターに経口投与した場合、異状症状の発現する直前に筋肉内に異常プリオンタンパクが検出され、異常プリオンタンパクが大量になると異状症状を呈した。 |
| 188 | クロイツフェルト・ヤコブ病 | THE LANCET 2004; vol.363, February7, 411-412 | 同じLancetの論文に対して意見を述べている。BSE動物の脳ホモジネートを経口及び静脈内投与して、感染実験をしているが、血液による推定感染力は数段低いと考えられる。この症例が輸血と無関係である可能性は極めて低い。(前回報告済み) |
| 189 | クロイツフェルト・ヤコブ病 | THE LANCET 2004; vol.363, February7, 417-421 | 英国で輸血によるvCJD感染の可能性を示す症例が1例確認された。(前回報告済み) |
| 190 | クロイツフェルト・ヤコブ病 | THE LANCET 2004; vol.363, February7, 422-428 | カニクイザルに、BSEに感染したカニクイザルの脳組織を静注及び経口で投与したところ、経口に比して静注の潜伏期間は短かった。末梢組織からのさらなるヒトへの感染を回避するために、vCJD患者血液を輸血された可能性のある症例に対しては、原発性vCJDと同じ予防策を適用すべきである。また、PrPresの分布は他の部位と比較して扁桃に多く、扁桃が生検スクリーニングの第一選択組織と判断すべきであると示唆された。(前回報告済み) |
| 191 | クロイツフェルト・ヤコブ病 | THE LANCET 2004; vol.363, January 3, p43 | vCJDによる患者の死亡は、輸血と関連があるかもしれない。 |
| 192 | クロイツフェルト・ヤコブ病 | The Lancet, 2004, 364, 527-529, 2004/08/27 | イギリスの2例目の輸血によるvCJD感染例について、プリオン蛋白遺伝子(PRNP)のコード129が、異型遺伝子であった。vCJD感染に対し感受性があるとされるPRNPのタイプが、メチオン同型遺伝子に限定されないと考えられる。 |
| 193 | クロイツフェルト・ヤコブ病 | The Lancet, 2004, 364, 529-531 | スクレイピー感染したハムスターから採取した全血について、市販のフィルターによる白血球除去を行った結果、白血球除去率は2.9logであったが、感染血液のTSE感染力は42%の低下にとどまった。 |
| 194 | クロイツフェルト・ヤコブ病 | The Telegraph, 2004/07/04 | フランス政府の保健医学機構の発表によると、フランスにおいて過去13年間に公式に発表された症例数の300倍に当たる30万頭以上のウシが狂牛病に感染したと概算している。(Veterinary Researchに論文掲載) |
| 195 | クロイツフェルト・ヤコブ病 | Transmissible Spongiform Encephalopathies 2004, Feb 23-25 (Dr R. Kascsak) | あるフィルターのプリオン除去能力に関する実験で、PrPSc汚染血液をフィルター処理することにより、PrPScを99%異常除去することがウェスタンブロット解析により立証され、感染力は4log低下した。 |
| 196 | クロイツフェルト・ヤコブ病 | Transmissible Spongiform Encephalopathies 2004, Feb 23-25 (Prof.J.Shih) | 羽毛ケラチンとプリオンの構造は似ている。羽毛分解酵素(PWD-1ケラチナーゼ)によって、PrPScは検出感度以下まで分解された。 |
| 197 | クロイツフェルト・ヤコブ病 | Vox Sanguinis, 2004, 86(2), 92-99 | vCJD感染性がフィブリノーゲン及び第8因子濃縮製剤の調整時に用いられるイオン交換プロセスにより十分に除去されることが示された。 |
| 198 | クロイツフェルト・ヤコブ病 | WHO Media Centre News, 04/05/05 | 人畜共通感染症についてWHO,FAO,OIEと共に会議を行った結果と、いくつかの人畜共通感染症の例示。 |

| 番号 | 感染症 | 出典 | 概要 |
|-----|---------------|---|--|
| 199 | クロイツフェルト・ヤコブ病 | 読売新聞, 2004/05/24 (Nature) | プリオンがヒツジの筋肉にもわずかに蓄積することをフランスの研究チームが発見した。食用肉からの異常プリオンの検出は初めて。 |
| 200 | クロストリジウム感染 | CDC/MMWR, 52(48); 1176-1179, Dec. 5 2003 | 角膜移植後24時間以内にウェルシュ菌による眼内炎を起こした2症例について、ドナーからレシピエントへのクロストリジウム属による感染症の可能性を示唆。 |
| 201 | クロストリジウム感染 | Clin. Infect. Dis., 38(9); e87-91, 2004 | 1999年12月から2000年4月までにカリフォルニアで静注薬物濫用者が壊死性筋膜炎を発症し、4人が死亡した。6人からClostridium sordelliiが検出された。 |
| 202 | クロストリジウム感染 | SCIEH Weekly Report, Vol.38, No.2004/22, Jan. 1 2004 | 静注薬物乱用者におけるClostridium nobyiの感染報告。 |
| 203 | 原因不明 | ProMED, 20040609-0020 (The hindustani Times online, | 毎年夏に西ベンガル地方で流行する原因不明の発熱性疾患(高熱、痙攣、譫妄、呼吸困難)により、小児8名が死亡し、200人が発熱したが、医師団は未だ病因を特定できていない。 |
| 204 | 原因不明 | ProMED, 20040922-0020 (All Africa, 2004/09/21) | 原因不明の疾患により、1週間で小児5名が死亡した。下痢と嘔吐を呈し、発症から6-7時間以内に死亡した。 |
| 205 | 原因不明 | The Times of India (2004/05/03), Ahmedabad Newslne(2004/05/06) | 原因不明のウイルス性感染症が疑われる黄疸のため3名が死亡し、患者120名以上が罹患した。飲料水の汚染が今回の疾患の主因と判明した。 |
| 206 | 原因不明 | Xinhuanet.com 2004/06/24 | 激しい頭痛と腹痛を呈するマラリア様の原因不明の疾患により5名が死亡し、その数十名が治療を受けている。 |
| 207 | 原因不明の呼吸器疾患 | ProMED, 20040207-0010 (XinhuaNet.com, 20040205) | ネパール中部の90人が原因不明の疾患に罹患。症状は、呼吸困難、発熱、めまい、倦怠感、咳そう。 |
| 208 | 原因不明の疾患 | OIE Disease Information, 17(9), 2004/02/27 | ブタ心筋炎(PMC)と呼ばれている原因不明の疾患は死産や離乳前の死亡の増加として表れている。電子顕微鏡による心筋炎部位の観察ではウイルス様の小片が見られる。ヒトへの影響は不明。 |
| 209 | 原因不明の疾患 | Pro MED, 20040713 (Ahmedabad Newslne, 07/12) | インドで小児15名が死亡し、致死性ウイルス感染が疑われている。国立ウイルス学研究所チームが検体採取を続けている。 |
| 210 | 原因不明の疾患 | ProMED, 20040222-0020 (BBC and Radio News Australia, | オーストラリアの養豚場で原因不明の疾患が発生した。 |
| 211 | 原因不明の疾患 | ProMED, 20040223-0050 (Hindustani Tmes online 02/20, Pakistan Times online 02/22) | カシミール地方で、原因不明の麻疹に似た疾患により小児7名が死亡し、60名が発病した。 |
| 212 | 原因不明の疾患 | ProMED, 20040515-0110 (East African Standrd) | ケニアで小児20名が原因不明の疾患で死亡した。 |
| 213 | 原因不明の疾患 | ProMED, 20040609-0020 (The Hindustani Times online 06/02) | 西ベンガル地方で小児8名が下人不明の疾患により死亡した。高熱で発症し、痙攣及び譫妄を呈し、呼吸困難へと増悪する。 |
| 214 | 原因不明の疾患 | ProMED, 20040623-0030, 20040624-0020 (Diario de Sao Paolo, | ブラジル(Maua市)で原因不明の疾患により3名が死亡したほか、入院患者がでた。頭痛、発熱、体部痛、腹痛、下痢、嘔吐、ふらつき、皮疹、急性出血を症状とする。 |
| 215 | 原因不明の疾患 | ProMED, 20040713-0080 (Pak Tribune, 07/12) | パキスタンで数十名が死亡し、口蹄疫が原因として疑われている。 |
| 216 | 原因不明の疾患 | ProMED, 20040722-0050 (Australian Broadcasting Company, | パプアニューギニアで原因不明の疾患により30名が死亡した。5名はマラリア様症状を呈したが、マラリア陰性であった。 |
| 217 | 原因不明の死亡 | ProMED, 20040314-0090, 04/03/13 | ワイオミング州で野生のシカ約300頭が原因不明の疾患に罹患し、約200頭が安楽死処分となった。 |

| 番号 | 感染症 | 出典 | 概要 |
|-----|------------------|---|--|
| 218 | 原虫性消化管感染 | Veterinary Parasitology, 120, 235-242, 2004/03/25 | Blastocystis属について、ヒト、霊長類、牛、豚、鳥類、げっ歯類から短利したものを分子学的・系統発生的に分析した結果、人畜共通感染する可能性が示唆された。 |
| 219 | 口蹄疫 | ProMED, 20040802-0010 (Xinhuanet com, 2004/07/30) | フィリピンの農場3箇所で口蹄疫が発生した。 |
| 220 | コロナウイルス | IASR, 25(7) 2004/07/05 | 小児呼吸器感染症患者から採取した検体より、ヒトコロナウイルス-NL63の検出を試み、複数の検体から本邦初となる同ウイルスの検出に成功した。 |
| 221 | コロナウイルス | Nature Medicine,10(4), 368-373, 2004/04/01 | オランダの研究チームが新種のコロナウイルスHCov-NL63を同定した。感冒症状の原因となるが、重症肺炎までには至らない。 |
| 222 | コロナウイルス | ProMED, 20040323 (Australian Boradcasting Corporation, Associated | オランダの研究チームが新種のコロナウイルスHCov-NL63を同定した。感冒症状の原因となるが、重症肺炎までには至らない。(元の論文あり。Nature Medicine,10, 368-373, 2004/04/01) |
| 223 | コロナウイルス | 病原微生物検出情報 IASA, vol25(7), | 小児呼吸器感染症患者より採取した600検体のうち188検体からウイルスが分離され、日本においてもHco-V-NL63ウイルスの感染があることが明らかになった。 |
| 224 | 細菌感染 | aaBB Weekly Rport, 2004, 10(8), 4-5, 2004/2/27 | 血小板製剤中の細菌数低減と検出に関するaaBBの新たな基準が2004年3月1日に発行する。 |
| 225 | 細菌感染(ロドコッカス・エクイ) | 第57回日本細菌学会東北支部総会, 2003/8/21,22 | タイで69名がヒト・ロドコッカス・エクイと診断された。ヒト由来株、AIDS患者宅周辺土壌、豚の下顎リンパ節の病原性プラスミドDNAを分類した結果、ヒト由来株のうち新しい4つの菌株が分離された。 【ロドコッカス・エクイ感染症(病因: Rhodococcus equi: 病原性プラスミド(85kbあるいは90kb)を保有する強毒株(細胞内寄生菌)、1-3ヶ月の(免疫力の弱い)馬に散発的に発生。臨床症状・病理: 肺膿瘍・潰瘍性腸炎、診断: ELISA・菌の分離)】 |
| 226 | サルモネラ症 | Veterinary Microbiology, 2004, 101, 131-141 | 1995年以降デンマークで行われてきた成ブタ群の血清学的サルモネラ調査の結果、盲腸内容物と咽頭と死体表面におけるサルモネラ感染率と群血清検査との間に相関関係があることが示唆される。 |
| 227 | 重症急性呼吸器症候群 | Br J Ophthalmol, 2004; 88: 861-863 | SARS感染初期にサンプリングされた涙液から、SARSコロナウイルスが検出された。 |
| 228 | 重症急性呼吸器症候群 | Emerging Infectious Diseases, 10(2), 176-178, 2004 | 2001年に採取された血漿のうち、健康人938人及び2003年にSARSと確定された48人の血漿を用いて、ウイルスの検出を行ったところ、SARS流行の少なくとも2年前にSARSコロナウイルスに暴露されていた人がいることが示唆された。 |
| 229 | 重症急性呼吸器症候群 | Journal of Pathology, 2004, 203(2), 631-637 | SARSの機能的受容体として知られるACE2のmRNAはすべての臓器に存在するが、肺と腸に多く存在することが分かった。 |
| 230 | 重症急性呼吸器症候群 | Journal of Pathology, 2004; 203: 622-630 | SARSで死亡した患者の、各組織からSARS CoVを検出した。呼吸器系だけでなく、汗腺や消化器からも検出されたので、糞尿、汗を介して伝播する可能性がある。 |
| 231 | 重症急性呼吸器症候群 | Journal of Clinical Microbiology, 2004, 42(1), 347-350 | 2つのPCR検査によるSARS検出試験で、SRSA CoVは、発症後1週目の血中で検出できることが示唆された。 |
| 232 | 重症急性呼吸器症候群 | Nature Medicine,10(4), 368-373, 2004/04/01 | オランダの研究チームが新種のコロナウイルスHCov-NL63を同定した。感冒症状の原因となるが、重症肺炎までには至らない。 |
| 233 | 重症急性呼吸器症候群 | ProMED, 20040131-0080 (NY Times, 2004/01/30) | 中国の研究者によるScience誌の報告では、SARSが極めて迅速に動物の病原体からヒト細胞への感染能力を獲得した病原体に変異したことを明らかにした。 |
| 234 | 重症急性呼吸器症候群 | The New England Journal of Medicine, 350(17), 1731-1739, | 2003年香港の集合住宅で起きたSARS流行について、居住場所と感染頻度との関係を空気の流れによって説明できる。 |

| 番号 | 感染症 | 出典 | 概要 |
|-----|------------|--|--|
| 235 | 重症急性呼吸器症候群 | WHO HP CSR Update4 1/28, 2004 | 中国保健当局は、2004年1月17日に広東省における2例目のSARS検査確定例を発表した。20歳女性で、既に回復し退院した。また、3例目となりうる予備試験陽性の可能性例(35歳・男性)も確認されているが、この男性も既に回復し退院している。1例目も含めたこれら患者から、他への感染は発生せず、感染源は確定できなかった。 |
| 236 | 重症急性呼吸器症候群 | WHO HP Disease Outbreak Reported 1/5, 2004 | 中国広東省で2003年12月20日より治療を受けていた32歳の男性がSARSであることが判明した。 |
| 237 | 重症急性呼吸器症候群 | WHO/CSR, (April 22,23,26,28,29,30, May 05,18) | 2004年4月22～28日に中国で起きたSARS9例(うち1例死亡)の概要、及び調査状況について。 |
| 238 | 重症急性呼吸器症候群 | WHO/CSR, 2004/04/22-05/18 | 中国において、4月28日までに9例(死亡1例)のSARS症例が報告された。5月18日にヒト-ヒト感染の終息宣言をした。 |
| 239 | 重症急性呼吸器症候群 | 厚生労働省HP, 2004/05/27 | 2004年に中国でSARS感染例が9例あった。 |
| 240 | 重症急性呼吸器症候群 | 読売新聞, 2004/05/11 | 中国でSARSが汗や尿、便を通じてヒトからヒトに感染する可能性があるとの発表があった。肺や気管の他、小腸、汗腺、胃、肝臓などの組織からウイルスが検出された。 |
| 241 | 水疱性口炎 | ProMED, 20040520- 0080, 20040702-0060, 20040726-0020, 20040829 - 0030 , 2004090709-0030 (Texas Animal Health Commission) | 2004年5月、1998年以降米国で初の水疱性口炎がテキサスでウマ9頭、ウシ8頭において確定診断されて以降、コロラド州、ニューメキシコ州でも確認されている。VSVニュージャージー血清型が原因と確認されており、現在までにウマ206頭、ウシ25頭、その他の半数動物2頭の陽性が確認されている。 |
| 242 | 水疱性口炎 | ProMED, 20040829- 0030(los Alamos Monitor, Greeley | ニューメキシコ州で発生した致死性の家畜疾患に関する検査が米国農業省により行われており、家畜3頭が水疱性口炎の疑いで検査中である。コロラド州では74例が水疱性口炎と確定されている。 |
| 243 | 水疱性口炎 | ProMED, 20040909- 0030(米国動物植物衛生検査局) | 水疱性口炎発生についての米国動物植物衛生検査局による集計では、コロラド州ウシ24頭、ニューメキシコ州1頭、テキサス州0頭。 |
| 244 | セントルイス脳炎 | ProMED, 20040804- 0120 (Lahontan Valley News and Fallon Eagle Standard) | アメリカのサーベイランスにより、セントルイス脳炎ウイルスが蚊から検出された。ヒトへの感染は3例報告されており、最後に起きたのは1989年である。 |
| 245 | 炭疽 | ProMED, 20040715- 0130 (Phayul.com, australian Broadcasting Company) | 中国で男性が汚染された牛肉を食べて炭疽に罹患し、死亡した。この男性と接触した35名が隔離されている。 |
| 246 | 炭疽 | ProMED, 20040801- 0030, 20040813-0060 (サウスダコタ州、テキ | サウスダコタ州で炭疽感染により、ウシを含む3種の動物がそれぞれ1頭ずつ死亡したことが確認された。 |
| 247 | 炭疽 | ProMED, 20040205- 0080 (ITAR-TSS) | ロシアで仔豚から炭疽が見つかり、仔豚に接触した4名が炭疽の疑いで入院した。(前回報告済み) |
| 248 | 炭疽 | ProMED, 20040801- 0030, 04/08/01 | 米国で、約180組オス・メスペアの放牧牛群で炭疽により8頭が死亡した。 |
| 249 | デング熱 | ProMED, 20041021- 0020 (China Daily, the Epoch Times) | 2004年9月以来中国でデング熱患者30名、感染の疑いのある患者が18名が確認されたが、100名以上が感染しているという情報もある。 |
| 250 | デング熱 | ProMED, 20040218- 0030, (Channel News Asia-Singapore, Tami Net, Associated Press, Xinhuanet, ABC Net, La prensa honduras) | アジア各国におけるデング熱の流行状況の続報。シンガポール、スリランカ、インドネシア、中国及びオーストラリアではデング熱が大流行している。特にインドネシアでは数千名が感染し、17名が死亡した。2月の時点で、昨年の入院患者数の2倍にあたる2518名が入院した。 |

| 番号 | 感染症 | 出典 | 概要 |
|-----|-----------------|---|--|
| 251 | 東部ウマ脳炎 | ProMED, 20040807-0040 (Sun Sentinel, Action News WPVI) | アメリカでワトトリが蚊媒介性疾患の東部ウマ脳炎ウイルスに感染していることが確認された。 |
| 252 | トリコスポロン感染 | J. Mycol. Med., 2003, 13, 155-156 | 爪真菌症などの表在感染症の病原菌であるTrichosporon mucoidesが、尿路感染症として尿から分離された症例報告。 |
| 253 | ニパウイルス | ProMED mail, 2004/06/24 (The New Nation) | WHOは2004年2月にバングラデシュのニパウイルス流行の感染拡大を報告した。2004年4月19日時点では、患者30名中17名が死亡した。コウモリが保有宿主と考えられる。 |
| 254 | ニパウイルス | Science, 2004,303(5661), 1121 | ニパウイルス感染が再興しており、バングラデシュでは40名以上の患者が脳炎を伴う重症症状を呈し、14名が死亡した。疫学的には今回の流行と、以前のマレーシアの流行とは異なる。 |
| 255 | ニパウイルス・ヘンドラウイルス | ProMED-mail, 20040206-0431 (The Nation City News) | バングラデシュで起きている原因不明の死亡(20名)についてWHOとCDCの専門家が調査した結果、ニパウイルスとヘンドラウイルスの近縁の新種ウイルスが原因と考えられた。(参考文献Health and Science Bulletin, 1(5), 2003) |
| 256 | 脳炎 | ProMED, 20040612-0060 (Veterinary laboratories Agency, The Veterinary Record, | イギリス及びウェールズで牛のボツリヌス中毒と疑われる症例を認めていたが、ボツリヌスではなく原因不明の新たな疾患(四肢麻痺)であると、イギリス獣医学研究所は考えている。 |
| 257 | 野兎病 | Emerging Infectious Disease, 2004, 10(3), 483-486 | プレーリードッグからヒトへ野兎病が感染することについて、初めて科学的根拠が示された。 |
| 258 | 野兎病 | ProMED mail, 20040713, 1882 | 野兎病の可能性の患者は、高熱と咳嗽を呈したが、重症化しなかった。野兎病空気感染の第一媒介者が兎であるという理論は確立できない。 |
| 259 | 梅毒 | PPHB Infectious Diseases news Brief, Dec. 26 2003 | 1998～2002年に早期梅毒症例が41例から495例に上昇し、男性間の早期梅毒の割合も88%に上昇した。 |
| 260 | 梅毒 | SCIEH Weekly Report, Vol.37, No.2004/07, Feb. 13 2004 | 2003年は梅毒が67症例(2002年は47症例)あり、そのうち8例はHIV陽性である。 |
| 261 | 破傷風 | CDR Weekly, Vol.14, No.3, Jan. 15 2004 | 2003年7月以来、英国における静注薬物乱用者の破傷風が少なくとも10症例報告された。 |
| 262 | 破傷風 | CDR Weekly, Vol.14, No.9, Feb. 26 2004 | 2003年7月以降の静注薬物濫用者の破傷風症例総数は20症例となった。 |
| 263 | 破傷風 | ProMed, 20040125-0020 Eurosurveillance Weekly, Vol8, 4 | 2003年11月に最初に報告された英国での静注薬物濫用者の破傷風流行は、スコットランドとウェールズにも拡大している。 |
| 264 | 破傷風 | SCIEH Weekly Report, Vol.37, No.2004/03, Jan. 20 2004 | 静注薬物乱用者の破傷風12例が英国で報告されている。 |
| 265 | 破傷風 | SCIEH Weekly Report, Vol.38, No.2004/01, Jan. 6 2004 | 2003年7月以来、英国における静注薬物乱用者の破傷風が少なくとも10症例報告された。 |
| 266 | 破傷風 | SCIEH Weekly Report, Vol.38, No.2004/05, Feb. 3 2004 | グレーダーグラスゴーNHSで47歳女性の静注薬物濫用者の破傷風症例の報告を受けた。 |
| 267 | 破傷風 | SCIEH Weekly Report, Vol.38, No.2004/09, Mar. 2 2004 | 2月10日に発表されたスコットランドにおける静注薬物濫用者の感染に関するレポートの紹介。 |
| 268 | 破傷風 | SCIEH Weekly Report, Vol.38, No.2004/13, Mar. 30 2004 | 静注薬物濫用者の破傷風は22例報告されており、2例が死亡した。 |
| 269 | パストツレラ菌性敗血症 | 日本小児科学会雑誌第55回日本小児科学会、107(12); 1685, Dec. 2003 | 小児科でパストツレラ菌性敗血症4例のうち、新生児の2例は産道感染が示唆された。 |

| 番号 | 感染症 | 出典 | 概要 |
|-----|----------------|--|--|
| 270 | バベシア症 | Am. J. Trop. Med. Hyg., 69(5), 2003, 455-460 | マダニを中間宿主としてBabesia divergensがウサギに感染すると考えられる。ウサギの多い地にいるアメリカ人の溶血性熱中症では、バベシア症を疑う必要がある。 |
| 271 | バベシア症 | 日本輸血学会雑誌, 50(2), 203, 2004 | 1999年に起きた輸血によるバベシア症感染の事例について。また、日本固有のBabesia microti様原虫が存在し、不顕性感染者もいることが判明しつつある。 |
| 272 | バンコマイシン耐性腸球菌感染 | Animal Science Journal, 74, 521-523, 2003 | 日本のブタの糞便からVREが検出された。感染源・感染ルートは不明である。 |
| 273 | 微胞子虫類感染 | Parasitology Research, 92(4), 2004, 328-334 | 糞便試料の分析で、微胞子虫Enterocytozoon bienewisiが確認された。牛から分離された遺伝子は、5つの遺伝子型に分類された。ヒトや他の家畜から分離されたものの遺伝子型と同様だったので、E. bienewisiは人畜共通感染の可能性はある。 |
| 274 | 風疹 | 国立感染症研究所、感染症週報,2004年第13週 | 小児科定点から報告される風疹患者数の推移について。 |
| 275 | 風疹 | 国立感染症研究所、感染症週報,2004年第14週 | 小児科定点から報告される風疹患者数の推移について続報。2004年は10歳以上の患者群が例年より多い。20歳以上で性差があるのは、風疹の予防接種を受けている男子が少ないことが考えられる。 |
| 276 | ヘルペスウイルス感染 | Journal of General Virology, 2004, 85, 857-862 | アフリカ及び東南アジア産のイノシシ科動物において、5種の新たなヘルペスウイルスが同定され、そのうち3種は国産ブタのヘルペスウイルスと密接に関連していた。 |
| 277 | ヘルペスウイルス感染 | The 20th Annual Clinical Virology Symposium, T47, | HHV-8が輸血を介して感染する可能性を検証した結果、3名の患者に抗体陽転を確認し、輸血を受けなかった患者71名では陽転は見られなかった。 |
| 278 | 発疹熱 | Emerging Infectious Disease, 2004, 10(5), 964-965 | 日本で発疹熱が血清学的診断により確定された。近年のクロネズミの増加から本症例が再興している可能性がある。 |
| 279 | ボツリヌス中毒 | Veterinary record, 154(23), 734-735, 2004/01/05 | イギリスで牛のボツリヌス中毒と思われる症例が認められた。家畜への感染を予防するために家禽の飼育状況及びそれに関わる者の取り扱いについて規制を設けるよう、研究機関が要望。 |
| 280 | マイコプラズマ性肺炎 | 国立感染症研究所、感染症週報,2004年第22週 | マイコプラズマの一定点あたりの報告数は0.27であり、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。 |
| 281 | マラリア | CDC/MMWR, 53(SS01); 21-34, Apr. 30 2004 | 2002年米国におけるマラリアサーベイランスの結果について。先天的感染1例、輸血に関連した感染の可能性のある1例のマラリア感染の症例他11例を紹介。 |
| 282 | ラッサ熱 | ProMED, 20040904-0040 (AP in Atlanta Journal Constitution) | アメリカで、リベリアから帰国した男性が、ラッサ熱により死亡した。 |
| 283 | リューシュマニア症 | ABC Newsletter, 2004/1/2 | FDAはイラク以外のリューシュマニア流行地域からの渡航者及び移民の供血延期措置は不要とし、措置の適応をイラクに限定した。 |
| 284 | リューシュマニア症 | Journal of Infection Disease, 2004, 189(6), 1018-1023 | リューシュマニアが治癒したとされるヒトの皮膚癒痕組織に対してPCRによる検査を行った。93.7%でリューシュマニア特異的DNAが検出された。 |
| 285 | リューシュマニア症 | Transfusion of Medicine, 2004, 14(4), 319-321 | リューシュマニア症の流行国であるインドにおいて、2～3年間で6回の血小板輸血を受けた6歳の少年が、輸血によるリューシュマニア感染症の疑いがあると診断された。 |
| 286 | 類鼻疽症 | ProMED, 20040410-0030 (IOL and Straits Times, Yahoo News) | 土壌に存在する菌Burkholderia pseudomalleiにより、シンガポールで15人が死亡した。 |
| 287 | レトロウイルス | Pro Med, 20040320-0120 (The Times news paper, 2004/03/19) | サル泡沫状ウイルス(Simian Foamy Virus)は、ゴリラやサルの間で感染しているが、HIVが森林の野生動物の肉を介して人類に移入されたと考えられるので、SFVに注意すべき。(念のためProMed中のLancetダウンロードしてあります) |
| 288 | レトロウイルス | The Times Edition 4M, 16, 2004/03/19 | カメルーンで1100人中10人からサル泡沫状ウイルス(SFV)抗体が検出された。野生の霊長類からヒトへのSFVの感染伝播を確認した。(Lancetへ報告) |

| 番号 | 感染症 | 出典 | 概要 |
|-----|-------------|--|--|
| 289 | レトロウイルス | Transfusion 2002; 42(7), 886-891 | サル泡沫状ウイルス(SFV)感染者からの輸血を受けた4事例について、感染伝播は確認されなかった。 |
| 290 | レトロウイルス | Cell Transplantation, 2004, 13, 137-143 | ヒト末梢性白血球移植マウスに、ブタ臍島を移植したところ、ブタの内因性レトロウイルスが移植組織に浸潤するヒト由来細胞に感染することが示された。ヒマト血清中の自然抗体が感染抑制を示した。 |
| 291 | レプトスピラ症 | Emerging Infectious Disease, 2004, 10(3), 406-412 | カリフォルニア州で汚染された水に接した健常人に発症したレプトスピラ症(5症例)についての考察。 |
| 292 | 連鎖球菌性感染症 | CDC MMWR, 2004, 53(23), 502-506 | 早期発症の新生児B群連鎖球菌性疾患は、継続的なスクリーニングにより、2003年は2000,2001年と比較して約30%減だった。サーベイランス地域では、2000-2003年で701例発生している。 |
| 293 | 連鎖球菌性感染症 | CDC MMWR, 2004, 53(23), 506-509 | B群連鎖球菌(GBS)スクリーニングガイドラインにて実施された2003年の結果は、ペニシリンアナフィラキシーに高リスクの母親の尿検体から180中121研究所においてGBSが確認された。 |
| 294 | 連鎖球菌性感染症 | CDC/MMWR, 52(48); 1173-1176, Dec. 5 2003 | 汚染された同種移植片組織を使った膝再建手術後に、化膿性連鎖球菌による侵襲性感染症を発症した症例について。 |
| 295 | 連鎖球菌性感染症 | HPA/CDPH, 7(2); 123-127, Jun. 2004 | 静注薬物濫用者におけるその他の問題のある感染症について。 |
| 296 | 連鎖球菌性感染症 | 日本小児科学会雑誌, 107(11); 1536-1539, 2003 | 母体の膣分泌培養と児の血液、胃液、鼻腔培養より、同一菌株によるA群レンサ球菌の母子垂直感染であることが示された。 |
| 297 | ロスリバーウイルス感染 | PPHB Travel health Advisory, Mar. 15 2004 | 西オーストラリアで本年626症例以上のロスリバーウイルス感染が確認されており、最近の大雨と洪水よりの蚊を介した感染リスクが高まっている。 |
| 298 | ロスリバーウイルス感染 | ProMed, 20031231-0040 (Your Guide Australia 12/30) | 米国南西部でのロスリバーウイルス感染患者数は、2003年は200例以上となった。 |